

宮崎神宮

養正

ようせい

一正

ようせい
「養正」とは

神武天皇が第一代の天皇に即位される際のご聖勅「上ハ
すなは あまつかみ くにさず みつくしび せいちよく
則チ乾靈ノ國ヲ授ケタマヒシ徳ニ答ヘ、下ハ則チ皇孫ノ正ヲ
やしな みこころ
養ヒタマヒシ心ヲ弘メム」からいただいた由緒ある名称です。

紀元二六八一年
令和辛丑三年

初春

新年のごあいさつ

宮崎神宮宮司

本 部 雅 裕



「皇嗣に壺切御剣親授」 令和2年11月8日 於皇居

皇紀二六八一年、令和三年の年の始めをお祝ひ致しますとともに、竹の園生の弥栄を心からお慶び申し上げます。

宮崎神宮をご崇敬くださいます氏子の皆さま、また全国各地より「神武さま」にお心を寄せていただきます崇敬者の皆さま、恙なくお正月をお迎へのことと存じます。

昨年より感染拡大を続けてをります新型コロナウイルスは、多くの人々に猛威をふるい、今年になっても衰へる兆しもみせません。当神宮では昨年三月より毎日の祭祀にて「新型コロナウイルス鎮静祈願祭」を行って皆さまのご安全をお祈り申し上げてまわりました。皆さまには、このお正月、「新しい生活様式」をお守りいただき、「三密」をさけて、三が日にこたはらず、一月いっぱい、ご都合のいい日にご参拝下さいますようお願い申し上げます。

さて、昨年十一月八日、天皇陛下には「立皇嗣宣明の儀」を皇居にて執り行はれました。皇嗣殿下には黄丹袍を召され、天皇陛下の「おことば」ののち、「立皇嗣宣明の儀をあげていただき、誠に畏れ多いことでございます。皇嗣としての責務に深く思ひを致し、努めを果たしてまゐりたく存じます」と述べられました。また、「皇嗣に壺切御剣親授」がおこなはれ、

皇嗣殿下には古くから皇太子に授けられる「壺切御剣」をお受けになりました。

ところで、当神宮のご祭神、神日本磐余彦天皇の立太子の礼につきまして『日本書紀』には、「天皇、生れましなごらにして明達し。意權如くみとしをまはりいつつます。年十五にして、立ちて太子と為りたまふ。」とあります。神日本磐余彦天皇はご幼少から聡明であらせられ、志が強く、高くていらつしやつた。そして十五歳のとき立太子の礼を挙げさせられ、皇太子となられたのであります。

第一代神武天皇の立太子の礼の御時を偲び、秋篠宮皇嗣殿下、同妃殿下の益々のお栄えを皆さまとともにお祈り申し上げます。

どうぞ、本年も皆様にはご健勝にてお過ごしくださいませ、折を見てまたご参拝下さいますやうお願い申し上げます。



「立皇嗣宣明の儀」 於皇居（正殿「松の間」）

御大礼の掉尾を飾る

令和二年十一月八日

秋篠宮文仁親王殿下が皇嗣になられたことを、公に宣明されるとともに、これを内外の代表がことほぐ儀式など「立皇嗣の礼」が、恙なく執り行はれました。国民待望のこの儀式は、当初令和二年四月十九日に執り行ふことが決定していましたが、新型コロナウイルス感染症の影響で延期となりました。なほ、当宮では同日午後二時より「立皇嗣の礼当日神社に於て行ふ祭祀」を関係者参列のもと執り行ひました。

立皇嗣の礼諸儀式

令和二年十一月五日

○神宮神武天皇山陵昭和天皇山陵に勅使
発遣の儀

令和二年十一月八日

○賢所皇靈殿神殿に親告の儀

天皇陛下が宮中三殿に立皇嗣の礼を
執り行ふ旨を親告されました。

○立皇嗣宣明の儀

天皇陛下が秋篠宮文仁親王殿下が皇嗣
になられたことを、内外に広く宣明さ
れました。

○皇嗣に壺切御剣親授

天皇陛下より壺切御剣が皇嗣殿下に授
けられました。

○賢所皇靈殿神殿に謁するの儀

皇嗣・同妃両殿下が宮中三殿に謁せら
れました。

○朝見の儀

天皇・皇后両陛下に皇嗣・同妃両殿下
が御礼を申し上げます。

○神宮神武天皇山陵昭和天皇山陵に奉幣の儀

◎は、国の儀式として行はれる立皇嗣の礼の各儀
○は、皇室の行事



今年のポスターは、宮崎県立佐土原高等学校生徒により作成していただきました。

御神幸祭 神武さま

令和二年十月三十一日



神武さま広場

「御幸之儀」

みゆきのぎ

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、恒例の御神幸祭（神武さま）は誠に残念ながら中止となりましたが、去る令和二年十月三十一日（土）、御幸之儀を執り行ひ、神武さま広場内（宮崎市高千穂通）に設けた御駐輦所に御鳳輦を奉安しました。

午後〇時三十分から午後四時までの御駐輦の間、参拝者は途切れることなく、多くの方にお参りいただきました。

御獅子も同会場内にて数度舞ひました。が、沿道の参拝者が「囃んで囃んで！」と嬉しそうに願ひされる姿は、とても印象的でした。

コロナ禍で全国の神社においての祭が中止、縮小を余儀なくされる中であって、多くの方々の笑顔に包まれる祭となりましたことに、神武天皇さまもさぞかしお喜びになられたことと存じます。

今回の祭を通して、改めて古来受け継がれてきた祭の意義を深く感じた次第であります。



本年の御神幸祭は、令和三年十月三十日（土）、同三十一日（日）、大淀御旅所までの往復です。常の例の随に賑々しく執り行はれますやう、皆様にはご理解ご協力を賜りたく願ひ申し上げます。

結びに、今回の「御幸之儀」は当宮と致しましても初めてのことで多々ご迷惑をおかけしたと存じますが、御陰をもちまして滞りなく執り行ふことができました。御神幸祭奉賛会をはじめとして関係各位、またお参りいただきました皆様に衷心より厚く御礼申し上げます。



ご協力いただき誠にありがとうございました。

文 = 講長 西尾武彦



新年のごあいさつ

新年あけましておめでとうございます。
本年もどうぞよろしくお願い致します。

さて、昨年は新型コロナウイルス感染症の影響により、御神幸祭（神武さま）の中止、活動の制限等で、講社としての事業がままならない年となりました。

世間では、新たな会議のスタイルやコミュニケーションの手段が大きく発展しましたが、講社の活動の基本は、境内でのご奉仕や研修であるため、ウェブでの活動は難しく、講員間での情報交換も無かったように思います。

また、長年続いていました皇居勤労奉仕団もやむなく中止となったことは誠に残念でした。毎年、大祭が終わり、境内の木々が色づきはじめ、上着が一枚多くなると、皇居の落ち葉が気になるものです。今年こそは皆様と一緒に、皇居の芝を美しく維持するためのご奉仕が出来る事を願うばかりであります。

空白の一年を充電期間ととらえ、本年は躍進の年と致したく存じます。皆様には、引き続き講社の諸活動についてご理解ご協力賜りますよう宜しくお願い致します。

結びに本年が皆様にとりまして幸多き年となりますようご祈念申し上げ、年頭のご挨拶と致します。

皇居勤労奉仕団のご案内 令和3年11月中を予定（4泊5日） ※6月中に決定致します。

- ◆主 催 宮崎神宮神武養正講社
- ◆企画手配 ㈱日本内外旅行
- ◆募集人数 30名を予定（定員に達し次第締切）
- ◆参加資格 満75歳までの神武養正講社講員
- ◆経費概算 1人当たり125,000円（30名の場合）

※講員でない方は入講の手続きが必要です。

お申し込みにあたって

- ①令和3年5月15日（土）締切
- ②奉仕の1ヶ月前までは、キャンセル料は不要です。
- ③日程は抽選結果により変更になる場合があります。
- ④宮崎神宮までお越しの上、お申し込み下さい。

お問い合わせ 宮崎神宮神武養正講社事務局

電話 0985(27)4004 担当 串間、出光

養正講の詳細は宮崎神宮ホームページに掲載しています。ぜひご入講ください。

瀬頭御旅所鳥居建替

解体清祓 令和二年七月二十七日 午前九時
竣工奉生祭 令和二年七月二十八日 午前十時

「結びの御大典奉祝事業」

当宮御神幸祭（神武さま）瀬頭御旅所は、同所に現存する「宮崎神宮御旅所碑」（昭和七年建立）によると、明治四十二年、財団法人神武天皇御降誕大祭会より選定されたとあります。

この御旅所前には、平成元年十月建立の鳥居がありました。それ以前の鳥居は下北方町内の杉材を用いたものでしたが、平成元年の台風により倒壊したため、ご用材を谷口本店（清武町）よりご奉納いただき建立されました。

この鳥居も約三十年を経て、一部朽ち損じていたため、今般、御大典奉祝事業の一環として建て替へることとなり、去る令和二年七月二十八日、目出度く竣工しました。

奉賛者（敬称略）

瀬頭御旅所

係長 中村 恒夫
役員 長田 一郎
役員 薬王寺宏一郎
他住民一同

御神幸祭奉賛会

会長 米良 充典

宮崎神宮大祭実行委員会

委員長 前畑 智之

神武養正講社

講長 西尾 武彦

御神幸祭奉賛会

他講員一同

(株)谷口本店

山崎(株)

(株)西尾組

常磐産業(株)

江坂設備工業(株)

高原ミネラル(株)

(株)志多組

薩摩蒸気屋

愛文社印刷(株)

ツルヤ(株)

(株)マスジユウ

(株)下森建装

横浜クリーニング店

宮崎神宮職員一同

ご用材として、摂社皇宮神社境内（宮崎市下北方町）の杉が選定されました。



鳥居竣工奉告祭 / 令和二年七月二十八日

新たな様式、変はらぬ心で。

分散でのご参拝をお願い申し上げます。



令和辛丑三年

はつまうで

正月三ヶ日に限らず

余裕をもってお参りください

【お願い】

- ① マスクの着用にご協力ください。
- ② 間隔をお空けください。
- ③ 手指の消毒にご協力ください。
- ④ 短時間のお参りにご協力ください。
- ⑤ 大声での会話は控えてください。

一日も早く新型コロナウイルス感染症が終息しますやう、ご理解ご協力をお願い致します。

お神札をお祀りしませう。

◆ お伊勢さまのお神札 伊勢の神宮（神宮大麻）

大大麻 二,〇〇〇円 中大麻 一,四〇〇円
 小大麻 一,〇〇〇円 神宮曆 二〇〇円

◆ 宮崎神宮のお神札 一,五〇〇円

あはせて氏神さま（お住まいの地域の神社）もお祀りください。

氏神さまはこちらから
[宮巡\(ぐうぐる\)](#) [検索](#)

節目のお祓ひをしませう。

・厄 祓 古来人生の大きな変はり目を厄年と言ひます。

男 性		女 性	
前厄	二十四歳 平成十年生	前厄	十八歳 平成十六年生
大厄	二十五歳 平成九年生	大厄	十九歳 平成十五年生
後厄	二十六歳 平成八年生	後厄	二十歳 平成十四年生
前厄	四十一歳 昭和五十六年生	前厄	三十二歳 平成二年生
大厄	四十二歳 昭和五十五年生	大厄	三十三歳 昭和十四年生
後厄	四十三歳 昭和五十四年生	後厄	三十四歳 平成元年生
前厄	六十歳 昭和三十七年生	前厄	三十六歳 昭和六十一年生
大厄	六十一歳 昭和三十六年生	大厄	三十七歳 昭和六十年生
後厄	六十二歳 昭和三十五年生	後厄	三十八歳 昭和五十九年生

・年祝い（長寿祝い）

還暦	六十一歳 昭和三十六年生	傘寿	八十歳 昭和十七年生
古稀	七十歳 昭和二十七年生	米寿	八十八歳 昭和九年生
喜寿	七十七歳 昭和二十年生	卒寿	九十歳 昭和七年生



浦安の舞（10月26日／例祭）
新型コロナウイルス感染症の影響により、役員、総代等一部関係者のみの参列にて執り行った。

- 七月 十日 除蝗祈願祭
- 七月 二十五日 撰末夏祭本祭 子供神輿渡御中止
- 七月 二十七日 瀬頭御旅所鳥居解体清祓 於瀬頭御旅所
- 七月 二十八日 瀬頭御旅所鳥居竣工奉告祭 於瀬頭御旅所
- 八月 四日 末社夏祭本祭 子供神輿渡御中止
- 八月 二十五日 風鎮祭
- 九月 二十一日 敬老祭
- 九月 二十二日 秋季皇霊祭遙拝式 秋分祭併風鎮満願祭
- 十月 五日 御東遷記念祭
- 十月 八日 御神田拔穂祭
- 十月 十七日 神嘗祭遙拝式 神嘗奉祝祭
- 十月 二十五日 前夜祭
- 第五十二回例祭奉納剣道大会中止
- 例祭奉納四半の大会中止
- 例祭
- 十月 二十六日 撰末社例祭
- 十月 二十七日 「神武さま広場」御幸の儀
- 十月 三十一日 ※十月三十一日、十一月一日の御神幸祭（神武さま）中止

祭典・奉納行事



上／御駐華所（神武さま広場御幸之儀／10月31日）
下／庭積神饌（11月23日／新嘗祭）
コロナ禍にあって減少が懸念されたが、例年通り氏子崇敬者より多数の新穀や野菜等のお供へをいただいた。

- 十二月 三日 明治祭 大的式奉納（九州菱友会宮崎市支部）
- 十二月 八日 立皇嗣の礼当日神社に於て行ふ祭祀
- 十二月 十五日 七五三詣祭
- 十二月 二十三日 新嘗祭
- ◆庭積神饌奉献者（順不同 敬称略）
 - ・宮崎神宮御神田米・宮崎県産米改良協会（県内七地区）
 - ・花ヶ島農産組合・下北方農産組合・宮崎商工会議所
 - ・宮崎県茶商連合会・宮崎県神道青年会御神田米
 - ・宮崎青果（株）・宮崎中央青果（株）本部農場・霧島酒造（株）
 - ・本坊酒造（株）・京屋酒造（有）・明石酒造（株）
 - ・神武養正講社七支部四十五名
 - ・氏子青年会十支部六十四名・一般崇敬者 二名
- 十一月 二十四日 撰末社新嘗祭
- 十二月 二十五日 本殿清掃奉告祭 大正天皇祭遙拝式
- 十二月 三十一日 古神符焼納祭 大祓 除夜祭 撰末社歳末祭
- 毎月 三日 月次祭（十一月を除く）
- 毎月 十五日 講社月次祭

みいづを仰ぐ

◆正式参拝・団体祈願◆

- 七月 一日 九州電力送配電(株)宮崎配電事業所夏季安全祈願
九州電力(株)宮崎営業所夏季安全祈願
九州電力送配電(株)宮崎支社夏季安全祈願
第一建設(株)安全祈願
四日 ひむかソーラー(株)安全祈願
鹿島道路(株)九州支店新田原工事事務所安全祈願
七日 (株)宮崎学校空調パートナー安全祈願
十九日 蕪幸男氏正式参拝
二十三日 アイサワ工業(株)安全祈願
二十七日 サムコテクシヴ(株)宮崎工場安全祈願
八月 一日 (株)はまゆう安全祈願
三日 宮崎太陽銀行創立記念参拝
三日 綾馬事公苑安全祈願
二十一日 (株)東海テック安全祈願
九月 十七日 (株)IHI九州支社安全祈願
二十二日 瀧谷直文氏正式参拝 ※案奉納
二十六日 鵬翔高等学校サッカー部必勝祈願
十月 一日 宮崎太陽銀行安全祈願
一日 (株)shin商売繁盛祈願
二日 (株)尚商売繁盛祈願
五日 公文式宮崎神宮北教室安全祈願
五日 (株)ライフワーク安全祈願
五日 (株)ミロク企画安全祈願
十三日 JA宮崎中央会畜産安全祈願祭
三十一日 檀原市長亀田忠彦氏正式参拝
十一月 二日 宏正空調設備安全祈願
六日 (一財)宮崎県内水面振興センター安全祈願
十日 東急ハンズ宮崎店商売繁盛祈願
十日 (有)ケアセンター高野
十一日 理容ブライジ宮崎加納店商売繁盛祈願
十一月十四日 小池愛子氏正式参拝
二十日 鳥山浩氏神恩感謝祈願

- 十一月二十日 (有)エイアンドアロー商売繁盛祈願
二十二日 望月三紀夫氏正式参拝
二十五日 宮崎県神道青年会正式参拝
十二月 一日 (株)バッグのあつた神恩感謝祈願
二日 (株)志多組安全祈願祭
四日 おかし屋さんはびらび商売繁盛祈願
八日 神道政治連盟会長内田文博氏正式参拝
九日 伊藤てんごく氏正式参拝 ※奉納演奏
十五日 宮崎県平和大使協議会正式参拝

◆畜産安全祈願祭◆

口蹄疫終息より十年の節目にあたり、去る令和二年十月十三日午前九時より、JAグループ宮崎による畜産安全祈願が執り行はれました。平成二十二年四月、本県で発生した家畜伝染病「口蹄疫」では、県内で飼養する家畜の四分の一にあたる二九七、八〇八頭の尊い命が犠牲となりました。さらに、他方で直接口蹄疫と関わりのない諸産業にも損失を引き起こしました。

その後、国・県・地域を挙げての感染拡大防止活動の結果、平成二十二年八月には終息宣言が出されました。爾来、皆様からの復興への後押しにより、県内の牛、豚の飼育頭数は発生前の約九割まで回復したとのことです。

祭典は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の為、参列者を制限して執り行はれました。参列された約一五〇名の関係者は、今後も徹底した防疫対策と衛生管理に努め、安全・安心な農畜産物の供給していくことを誓はれました。



犂守 (ひしめき守)
畜産安全はもとより、皆様が牛が一心不乱に走るが如く前を向き、また、人と人が心置きなく犂めき合えるやうな平安の通常の日々が続くことを祈念して奉製、撤下品として授与した。

” 献詠短歌 ”

「宮崎神宮献詠短歌会」は、昭和十六年三月に発足しました。爾来八十年の長きに亘り、三十一文字に思ひを込めて献歌してきました。

■ 献詠募集 選者 堀家博子

ハガキに楷書で丁寧にご一筆と氏名、住所、電話番号を明記の上、宮崎神宮社務所までお送りください。

※毎月五日締切

※選考結果は毎月末に応募者宛にお送り致します。

■ 令和三年兼題

本年の献詠兼題を左記の通り定めましたので、お知らせ致します。毎月作歌して、日々の生活の中のささやかな出来事や人生の機微をお詠みください。

- 一月 便 二月 椿
- 三月 友 四月 董
- 五月 空 六月 紫陽花
- 七月 藍 八月 渚
- 九月 絵 十月 秋桜
- 十一月 石路 十二月 街

■ 令和二年六月 兼題「傘」

天

くるくると傘まわしつつ帰ったり
雨の上がりし川沿いの道

熊本市 福田美恵子

地

梅雨どきのスクールゾーンは傘の花
ゆらゆらゆれて学舎に消ゆ

南九州市 赤坂よし子

人

コロナ禍に登校急ぐ児らの声
梅雨空のもと傘とりどりに

宮崎市 梅崎まゆみ

秀逸

雨の日の校舎傘立て運動場
教室の歌声懐かしきかな

小林市 永友 チエ

草刈りをせむと決めたる三日後の
天気予報に傘マークつく

宮崎市 出光 弘忠

佳作

傘寿まで働かし夫と旅に来て
北の地酒に饒舌となる

宮崎市 鐘ヶ江和貴

満開の芍薬に傘をさし立てぬ
午後より激しき雷雨の予報に

宮崎市 小松 京子

墓参り終へて駐車場へ急ぐ道
子は傘さしかくる雨降り出でて

宮崎市 徳永さち子

選者詠

仕上がりし番傘あまた干す庭に
道草したり下校途中に

■ 令和二年七月 兼題「青」

天

鶴戸崎の青波寄する沖合ひに
赤き舷カーフェリーの航く

宮崎市 本部 雅裕

地

高千穂の峰あふぎつつうかららと
青空の下早苗植ゑゆく

宮崎市 黒木 雅裕

人

降りそめし雨に少女は肩すぼめ
フェルメールの青き傘を開きぬ

日南市 黒岩 昭彦

秀逸

知らざりし夫の青春見てをりぬ
一人の午後をアルバム開き

宮崎市 濱田眞理子

青空の下を歩めばどこからか
亡き夫声をかけてきそうな

宮崎市 小松 京子

佳作

雨上がり青く澄みわたる鰐塚山
夫と登りき富士登山せむと

宮崎市 小池 洋子

抽出しの奥に眠りし青春か
ときめきを今にこの胸に抱く

宮崎市 桑原 淑子

青々と稲田となりたる休田に
すがしき風がさざなみうてり

南九州市 赤坂よし子

選者詠

挿し木して三十年か紫陽花は
こんもりと咲く青涼し気に

■ 令和二年八月 兼題「祭」

天

子の担ぐ神輿待ちしはこのあたり
祭りなき杜ひぐらしの鳴く

宮崎市 黒木和貴子

地

月次の祭りの庭にすがすがし
新人の巫女の笛の音をきく

日南市 黒岩 昭彦

人

コロナ禍に次々中止になる祭り
明るき柄のマスクを縫ひぬ

倉敷市 萩原 節子

秀逸

舞ひ終へて噴き出す汗は止まるなく
ひたすら拭ふ夏の御祭

綾 町 松元 由茉

港祭りの朝船に乗り霧にかすむ
陸を見ながら日向灘航く

宮崎市 甲斐嘉一郎

佳作

真あたらしゆかた着て行く七夕祭り
出店に今も並ぶニッキビン

小林市 前満 英子

マスクつけ大祓詞唱ふなり
護国の宮のみまつりの朝

宮崎市 黒木 和子

ふるさとに若者戻り賑わえり
一夜限りの祭の花火

宮崎市 桑原 淑子

選者詠

五彩布に鈴鳴らし来るジャンカン馬
祭りを待ちし遙かなりし日

令和二年九月 兼題「雲」

天

音たててドクターへりは飛びゆけり
夏雲広がる東の空を

宮崎市 濱田眞理子

地

うろこ雲空にひろがりゆく夕べ
明日の大漁信じ寝たり

延岡市 喜多 昭子

人

石段に手を引きあひて上り来し
鎮守の宮居に雲の峰立つ

宮崎市 黒木ふさを

秀逸

青空に入道雲湧く一ツ葉の
沖を行く船白く輝く

宮崎市 友枝 清子

翳雲ひろがる空を見上げをり
夫の墓石を子等と洗ひつつ

宮崎市 小松 京子

佳作

くろぐろと立ち上がりくる入道雲
追はるる如く自転車踏みき

宮崎市 小池 洋子

母の忌を止めしコロナ禍ふるさとに
仰ぐ尾鈴嶺白き雲ひく

宮崎市 鐘ヶ江和貴

横綱の雲竜型の土俵入り

「ヨイショ」と唱う無言の画面に

日南市 黒岩 昭彦

選者詠

鮮やかに雲を出で入る月の下
酷暑を耐へし蟋蟀啼けり

令和二年十月 兼題「柿」

天

亡き祖父母初孫記念に植えし柿
時過ぎゆくも秋を彩る

寒川町 寺原 聖山

地

隣家の柿の実今年も熟れてをり
賜ひし老いの逝きて久しき

宮崎市 小松 京子

人

富有柿の色づく庭に父のこゑ
車椅子とめ実を数へみき

宮崎市 黒木和貴子

秀逸

人住まぬ庭に柿の木枝撓め
折れむばかりに実を付けてをり

宮崎市 徳永さち子

目にさやか南洲墓地に実りたる
庄内柿は夕かげに映え

宮崎市 黒木 和子

佳作

内地よりの祖母の作りし吊し柿
温突の部屋に食ひにし日遥か

宮崎市 鐘ヶ江和貴

体力の衰へ聞きしは半年前
自慢の柿の今年届かず

宮崎市 小池 洋子

柿渋で染めし上着を自慢気に
店先に立ちし若かりし頃

宮崎市 梅崎まゆみ

選者詠

夜なべして皮を剥きにし渋柿を
竿に干しゆく日の射す庭に

令和二年十一月 兼題「星」

天

山深き米良の神楽の夜更けて
眼をさすばかりの星の輝き

宮崎市 小池 洋子

地

秋明菊夜目にも白く見ゆる庭に
星空高くペガサス探す

宮崎市 鐘ヶ江和貴

人

一筋の流れ星消えし夜の空
わが願ひは叶はぬままに

宮崎市 友枝 清子

秀逸

果てもなく煌めく星を見上げつつ
私も老いましたと父母に告ぐ

小林市 永友 チェ

星みつる秋の夜空をあふぎつつ
小さく亡夫の名を呼んでみる

宮崎市 小松 京子

佳作

波寄せる鵜戸の宮より仰ぎ見る
星の近きを今宵しりぬる

日南市 黒岩 昭彦

宿題の冬の星座教へむと
甥とシヨールを分け合ひ仰ぐ

延岡市 喜多 昭子

日暮れて後夜空に光る北極星
惑ふ人生のしるべにもする

宮崎市 永吉 寛行

選者詠

母の葬り終へたる真夜の星空を
忘れがたかりかの煌めきを

職員動向

令和二年七月から
令和二年十二月まで

【社内辞令】

用務員 小笠原江利子
願に依りその職を免ずる
(令和二年七月七日)

巫女 岩田 優香

願に依りその職を免ずる
(令和二年七月三十一日)

用務員見習を命ずる
松元久美子
(令和二年七月二十日)

用務員見習を命ずる
松元久美子
(令和二年八月二十日)

アミュプラザみやざき 交通神社

御祭神

神日本磐余彦天皇を始め奉り日向の國に
鎮まり坐す天津神国津神八百萬の大神

令和二年十一月十日

午後五時〇〇分 遷座祭(本殿の儀)

午後五時三〇分 遷御

午後六時〇〇分 遷座祭(新殿の儀)

令和二年十一月十一日

午前十時〇〇分 御鎮座奉祝祭

両日とも九州旅客鉄道(株)、宮交ホール
ディングス(株)、宮崎交通(株)、(株)JR宮
崎シティ関係者十数名ご参列の上、恙
なく執り行いました。衷心よりお慶び
申し上げます。

新たな拠点として

令和二年十一月二十日、JR
宮崎駅西口に複合商業施設ア
ミュプラザみやざきがオープ
ン致しました。

施設屋上には、(株)JR宮崎
シティにより交通神社が建立
され、同社より請願を受け、
上記の神々をお祀りすること
となりました。

ご社殿は銅板葺きの神明造
りで、前面には天孫降臨の地
高千穂の峰を遙かに仰ぎ、背
面には神武天皇御船出の日向
灘を望む、実に肇国神話発祥
の地宮崎県の交通の要として
相応しいものです。

人々が寄り集ひ、笑らぎ賑
はふ清々しき当県の新たな街
中の拠点とならんことを願っ
てやみません。

みやざき

Vol.156